



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)  
 2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)  
 パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

# 週報

第427 回例会 2月7日(火)AM 7:30~8:30 オークラアクトシティホテル浜松4F平安の間

■司会:鈴木孝尚

■点鐘:堀内善弘副会長 ■ロータリーソング:奉仕の理想

■ゲスト:神谷昌志氏

■ビジター:浜松RC 山田善彦様

## 堀内副会長による会長代行挨拶

立春を過ぎて、昨日来随分と雨が降っています。季節の移ろいを感じます。卓話の神谷先生、本日はありがとうございます。  
 親の世代からの浜松の移り変わりが聞けると楽しみにしております。  
 新会員の皆さん、ロータリークラブに入りまして、何の役も無く、少し手持無沙汰かもしれませんが、ちょっとした挨拶、会話のきっかけ、そんなことが直ぐに出来る取り組みかもしれません。待つより、一歩前へ出る事を是非やってみて下さい。  
 浜松ロータリークラブの山田様お越しいただいてありがとうございました。

## 幹事報告

- ・本日レターケースにロータリーの友と地区ガバナー月信2月号が入っていますのでご覧ください。
- ・第7回理事会の決議事項をご報告します。  
 3/13の第431回例会は会員増強部会の担当例会ですが、1月15日にご逝去された故・唐澤特別代表の追悼例会を開催する事になりました。詳細については次の理事会で確定する予定です。
- ・浜北伎倍RCよりガバナー補佐、IM実行委員長名で、IMに関する依頼文が届いています。メールで皆様に配信しますので、ご確認下さい。
- ・本日例会終了後に、事務局に於いて、第8回役員会を開催します。

## 委員会報告

ロータリー情報部長:鈴木和浩

第426回例会でお配りした「抜粋のつづり」は、書籍や雑誌、新聞から心に残る文章・記事を抜粋し、まとめた物です。  
 創業者の熊平原蔵氏が社会への感謝、報恩のために昭和6年に創刊。いらい、戦時中を除いて途絶えることなく毎年1回発行し、全国の官公庁や金融機関を始め、学校、病院、図書館、ロータリークラブなど、全国8万3千ヶ所の団体、個人に寄付。今回は45万部を発行しています。  
 現在、孫にあたる(株)クマヒラ・(株)熊平製作所会長の、熊平雅人氏が創業者の志を受け継ぎ、毎年創業記念として皆様にお渡ししているものです。



ビジター:浜松RC 山田様



米山奨学生 賀さん

## スマイル報告

原田道子:税理士の団体でTKCという組織があります。その組織に入っている税理士が2年ごとに大きな目標で競い合っことをします。22年23年の目標達成で、日本全国マスター登録数(顧客数)最高クラスの中で、全国39位になりました。女性では日本全国第2位でした。多分海外旅行が待っています。ロータリーだけではなく、仕事もガンバっています。忙しくてもロータリーでも100%出席も毎年更新しています。  
 原田道子:土洲先生の名誉の為にも、先週のスマイルは私が書きました。自作自演ではありません。それと、私の名誉の為にも、私の厚木県央RCでの卓話に感動した人が、パワーのホームページで、11月1日に私の卓話を知り、わざわざ浜松まで車で2人来て頂きました。土洲先生も凄いけど、私も凄いでしょ?



## ハッピーバースディ

- 2/2 高木一浩
- 2/6 小田木基行
- 2/19 堀内善行
- 2/22 小澤邦比呂



出席

94名中61名65%  
前々回修正出席率79%



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)  
 2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)  
 パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

## 議事卓話

第427 回例会  
 2012年2月7日  
 PJ 国際奉仕

# 神谷昌志氏 卓話 「なつかしの浜松」

本日は明治・大正・昭和につれて浜松がどのように激変していったかをお話してみたいと思います。

浜松は城下町であり、宿場町としても発達してきました。江戸から京都まで125里(約500km)のど真ん中にあるということ意味する町が中野町です。江戸時代、浜松は馬込川～菅原でした。その距離は26町(2.7km)くらいです。

その通りは旅館が並んでいました。

明治7年と明治27年の大火によってほとんどが焼失して、浜松宿の面影がなくなってしまいました。一方、明治22年に浜松駅ができて、浜松宿が浜松町になりました。

浜松駅は最初は龍禅寺に作るという話だったのですが、遠いということで昔の八幡にもっていき、そうするとグランドホテルの山が邪魔なので、線路を限界まで曲げるという形にしました。

江戸時代、牢屋は千歳にあったのですが、明治7-8年に高町の正福寺の南に移っています。最初に入った者が清水次郎長の子分の小政です。ちなみに今は鴨江にあります。遊郭も伝馬町から鴨江に移っています。

戦があったときに鍛冶屋もついていき、折れた刀や壊れた鉄砲を直しました。そのため城下町には鍛冶屋の町ができたのです。

秋葉山の入口でもあります田町～池町～尾張町にかけてが浜松で最初に歩道ができたところでした。

運送については浜松から気賀までの路線は馬車→軽便→奥山線→西鹿島線と変わっていきました。

時間がきてしまい昭和にまでたどりつけませんでした。次回機会があればお話ししたいと思います。



### <プロフィール>

浜松生まれで文化施設アドバイザー  
 元賀茂真淵記念館長  
 浜松史蹟調査顕彰会専門委員  
 浜松市文化協会評議員  
 著書

遠州産業文化史、徳川家康伝、はままつ歴史発見、遠江武将物語、  
 浜松古跡図絵、遠州歴史散歩、遠州の寺社・霊場、浜名湖—自然と歴史と文化 他多数



〒430-7733

Tel/Fax 053-452-0800

静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松4307号室

パワー浜松ロータリークラブ

Email info@power-hamamatsuro.jp http://www.power-hamamatsuro.jp/